

## はじめに

1人1台端末の活用が進んでいますが、端末を用いた一斉授業だけでは、ICTの特性を十分に活用しているとは言えないかもしれません。これまで紙であったものを単にデジタルに置き換えるのではなく、授業自体を変えていくことが重要になるのではないのでしょうか。そうしたことを後押しするため、文部科学省を中心に、各種の情報提供や優れた実践を共有する取組が充実してきています。

本誌面には限りがあるので、十分な情報提供とは言えないかもしれませんが、本誌掲載の情報等が、県内学校やICTを活用した授業改善に取り組む先生方の取組に微力ながらも貢献できることを願っております。

## 「タブレ 2.0」の活用をしてみませんか！

8月22日に文部科学省から配信されました「GIGA StuDX メールマガジン 第25号」で、当センター研究成果物「+タブレ 2.0」が紹介されました。

「+タブレ2.0」は、協働学習や個別学習でICTを活用したいと考えている先生を対象とした研修パックとして開発されました。研修パックには、教科指導におけるICT活用の場面をイメージすることができる研修用動画、進行マニュアルなどの研修会資料も含まれており、研修会担当者が負担なく研修会を実施することができるようになっています。また、県域で導入された「Google Workspace」の活用にも対応できるように、公開翌年に「ICT活用体験参考資料」を追加しております。

GIGAスクール構想によって整備された端末をより効果的に活用していくために、校内研修等で、ぜひ「+タブレ 2.0」を利用してみてはいかがでしょうか。



(出典：宮城県総合教育センターウェブページ)

## 特設ウェブサイト「StuDX Style」を活用しよう！

文部科学省より公開されている特設ウェブサイト「StuDX Style」に新たなコンテンツが追加されました。

特設ウェブサイト「StuDX Style」では、1人1台端末の更なる利活用の促進に向けて、全国の学校や自治体から提供された端末の活用方法に関する優良事例等が数多く紹介されています。

具体的には、活用のはじめの一歩となる「慣れるつながる活用」、各教科等の学習に生かす「各教科等での活用」の事例を紹介するとともに、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていく「STEAM 教育等の教科等横断的な学習」の取組事例もあわせて掲載しています。

ぜひ、ご活用ください。

### 特設ウェブサイト「StuDX Style」について



(出典：文部科学省ウェブページ)

## NITS「実践力向上シリーズ」を知っていますか？

独立行政法人教職員支援機構では、学校教育関係職員が主に自己学習のために活用することを想定し、10分程度の講義動画を提供しています。

この講義動画では、各テーマについて、授業等で実践できる力を身に付けるための内容が、事例等を交えながら解説されています。現在掲載されているコンテンツは6本です。ぜひ、視聴してみてください。



(出典：独立行政法人教職員支援機構ウェブサイト)

## 情報機器の使用による健康との関わりを理解する

GIGA スクール構想による1人1台端末の本格的な利活用が進み、児童生徒が家庭に1人1台のタブレット端末を持ち帰る機会も増えているのではないのでしょうか。また、夏休みについても、夏季休業期間中に1人1台端末等を活用して、基礎的・基本的な内容の定着を図るための学習を効果的・効率的に実施したり、より創造的な課題に取り組ませたり、家庭で端末を使って自由研究に取り組ませたりしている自治体や学校もあるのではないのでしょうか。

以上のように、端末を利用する機会が今後も増えていくことを考えると、安全で適切かつ持続可能な端末の使用法を児童生徒に教えていくことが求められます。

情報機器の使用による健康との関わりについて、先生方は繰り返し指導していることと思いますが、改めて「児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック(令和4年3月改訂版)」を確認してみたいかがでしょうか。



(出典：文部科学省ウェブサイト)

## 「キミも ICT マスター」の紹介

### 「みやぞん」とICT活用について学ぶ！

学校や家庭ですぐに活用できるICTの知識を「みやぞん」さんが楽しく語って歌で紹介する番組がNHK for Schoolで公開されています。番組は、ドラマに出てきた名場面をきっかけに、ICT端末を活用する基礎スキルが身に付けられるような構成になっています。

また、内容は キータイピング、上手な検索、情報の整理、プログラミング、チャット・メール・SNS、プレゼンテーション、共同編集と、学習指導要領で示されている学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力を網羅しています。

各教科等の授業に埋め込みながらスキルを高める際に活用したり、家庭学習の視聴課題としたりする等して活用できます。

(出典：NHK for School)

## 「MEXCBT」で学力定着を図る試み

### 「MEXCBT」の活用が進んでいます！

文部科学省は、GIGA スクール構想により、児童生徒1人1台端末環境が整備されたことを踏まえ、児童生徒が学校や家庭において、国や地方自治体等の公的機関等が作成した問題を活用し、オンライン上で学習やアセスメントができる公的 CBT (Computer Based Testing) プラットフォームである「文部科学省 CBT システム (MEXCBT:メクビット)」の開発・展開を進めています。

ウェブサイトによると、約1,000の学校設置者、約1.1万校、約360万人が登録しているとのこと。また、ウェブサイトでは、活用実践事例が紹介されています。8月22日に更に活用事例が追加・公開されました。

(出典：文部科学省ウェブサイト)

【編集後記】今後も先生方のICTを活用した授業づくりを支援する情報提供等を発信していきたいと考えております。なお、Mナビ新聞では皆様からのご感想・ご意見・ご要望を募集しております。右記の二次元コードからフォームに記入していただくと幸いです。次号もお楽しみに！

